

## 米国ジョージア大学における研究生活の報告

派遣国名: アメリカ合衆国  
受入機関: ジョージア大学  
派遣期間: 2011.7.20~2011.10.17

2011年7月20日から10月15日までのおよそ3か月間、米国ジョージア大学のMichelle Momany教授の研究室に滞在しました。Aspergillus属糸状菌のもつO-結合型糖鎖の生合成機構について研究を行い、形態観察の技術などを習得しました。Aspergillus属糸状菌には、発酵食品の製造に用いられている有用微生物がいる一方で、アスペルギルス症を引き起こす病原菌もあり、様々な角度からの研究が進められています。



ジョージアの自然 Lake Oconee

ジョージア大学では研究室内でのミーティングだけでなく、真核微生物を対象にしている研究室間の集まりが頻繁にあり、たくさんのアドバイスと、新しいアイデアを得ることができました。とくに派遣先研究室をはじめ、同大学 Complex Carbohydrate Research Center (CCRC) の研究者の方々との交流は、今後の研究活動を進める上で大変有意義なものでした。



ジョージア大学の Sanford Stadium

大学構内、研究室は過ごしやすく設計されており、快適な生活を送ることができました。生活面では、2マイルほど離れた宿舎でスポーツ科学を専門にしている教授とルームシェアで暮らしていました。彼の話によるとジョージア大学はスポーツにかなり力を入れているようでした。専門は全く異なりましたが、米国での生活やマナーについていろいろなアドバイスをいただきました。

宿舎は、最近まで海軍の補給部隊訓練校として使用されていた場所にあり、敷地内はいたって普通でしたが、壁は高く、警備も厳重で安心して生活を送ることができました。

また、久しぶりの自転車通勤を行って、健康的で新鮮な日々でした。街のいたるところにジョージア大学のマスコットの犬 (Dawg) の像が置いてあり、目を楽しませてくれました。

このような貴重な機会を与えていただきました JSPS、および同プログラムの関係者の皆様に深く感謝いたします。



通勤途中の Dawg 像と、ボリューム感あるハンバーガー